

## 心構えの大切さ実感

松本秀峰 抜き打ち避難訓練

松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校で27日、火災を想定した避難訓練が行われた。初めて生徒に事前に知らせず実施し、実践的

な内容で方が一に備えた。校舎2階で火災が発生したとの想定で行われ、授業中に突如、報知器や非常ベルが鳴り、各階で耐火性の高

い布でできた防火シャッターが下りた。生徒たちはやや戸惑いながらも教員の指示に従って冷静に行動し、校庭に4分ほどで避難した。

同校は毎年1回、避難訓練を実施している。昨年の東日本大震災や松本震災を受け、実際に近い内容で防災

力を高めようと事前の通知をしなかった。3年生の小林可奈子さん

(15)は「最初は校内放送のミスかと思った。もし煙が上がっていたらパニックに陥るかも」と話し、日ごろの心構えの大切さをかみ締めていた。

(小岩井貴之)



抜き打ちの訓練で避難をする生徒たち